

糞便からのDNA抽出サービス

腸内フローラ解析用に特化したDNA抽出法により実施します

次世代シーケンスによる腸内細菌フローラ解析においては、さまざまなステップでバイアスがかかるリスクがあり、DNA抽出ステップもその一つと考えられております。

不適切なDNA抽出方法を採用した場合、特定の菌種で抽出効率が低下し、正しい結果が得られないことがあります。※1

当社では、バイアスが生じにくい標準的なDNA抽出方法によりDNA抽出を実施しております。

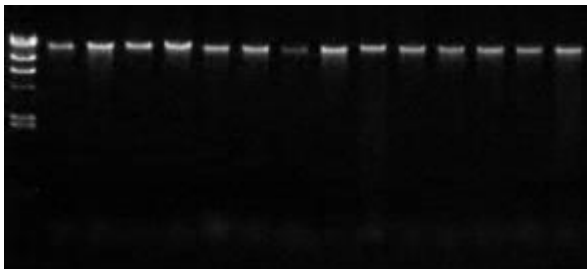
既に、次世代シーケンスによる国内アカデミアの腸内細菌フローラ解析プロジェクトにおいて、1700検体以上の糞便DNA抽出の実績があります。信頼性向上のためにご利用ください。

※1 Santiago et al. BMC Microbiology 2014, 14:112

Processing faecal samples: a step forward for standards in microbial community analysis

報告内容

アガロースゲル 電気泳動



濃度および純度

サンプル	濃度[ng/ μ L]	容量[μ L]	Abs.260/280
1	709.60	150	1.921
2	1005.90	150	1.864
3	735.80	150	1.916
4	685.10	150	1.869
5	611.66	150	1.936
6	1606.23	150	1.919
7	540.10	150	1.859

お問い合わせ先

アプリラボ

application@ngri.co.jp